

2年生 多数傷病者対応訓練を行いました

9月29日（火）、仙台市消防局による「令和8年度集団災害救急救助訓練」を仙台市太白消防署が中心となり、仙台市太白区長町「杜の広場公園」にて実施されました。訓練は、消防署職員だけでなく、仙台南警察署、救急活動支援医療チームの医師や看護師も参加し、仙台市として行われる大きな訓練でした。本校は多数傷病者対応訓練として2年生が傷病者役および救護役として参加することができました。

学生は、災害発生時を想定した搬送・トリアージ・救護の一連の流れを体験し、消防署職員の指導のもと、現場で求められる迅速な判断や連携の重要性について学びました。緊急時対応への理解を深める貴重な機会となり、災害時の救急活動に対する認識を高めるとともに、看護職として求められる役割を実践的に学ぶことができました。



公園内に乗用車が侵入し、その車両が原因で多数の負傷者が発生したと想定した訓練



TV局の取材もあり、夕方のニュースで放送されました



傷病者役を体験し、搬送時
や待機中に一つひとつ声を
かけられたことが不安の軽
減につながりました





黄色テント内では、バイタルサイン測定と救急処置を行いました。



災害現場では多くの負傷者がいるため、一人ひとりに十分な時間をかけて対応することは難しく、短時間で状態を把握し、必要な情報を正確に伝達することが求められることを学びました



消防ヘリも出動！



災害現場では、全体の状況を把握して指示を出す本部が設置され、それぞれの役割を持つ人が連携することで、多数の傷病者に対し迅速に対応していることがわかりました。

